

電気通信施設設計要領・同解説（電気編）平成25年版 正誤表

03版、平成27年10月15日

項	訂正箇所	誤正																																																		
—	検討委員会 委員名簿	誤 坂田 伸之 岩崎電気株式会社 社会システム部 正 坂田 <u>信之</u> 岩崎電気株式会社 社会システム部																																																		
2-61	9. 選定	誤 なし 正 変圧器の選定は次による。 (1) 変圧器は、モールド形のトップランナー対応を標準とする。 (2) 変圧器は、盤内収納を標準とする。 (3) 単相負荷は、三相バランスするように考慮する。 (4) 内接デルタまたは三相7線変圧器を選定する場合は、以下に留意のこと。 1) 200V と 100V の容量分担 2) 動力負荷始動時の電圧降下が電灯系負荷に及ぼす影響 3) 保守性、信頼性、経済性																																																		
2-64	表 2.1.9-47	誤 表中に誤りがある。 正 <u>別紙2</u> に修正した表 2.1.9-47 を示す。 表中、赤字が修正部分。																																																		
2-92	② エンジン・ 常設形 5行目	誤 ・情報板の設備容量に関しては、「電気通信施設設計要領（案）・同解説（情報通信システム編）第12章 2-2-1 表示板の機能 表 2-2-1 表示板の種類と機能（案）」を参考とし、既設機器に関しては、完成図書等を参考に決定する。 正 ・情報板の設備容量に関しては、「電気通信施設設計要領（案）・同解説（情報通信システム編）第12章 2-2-1 表示板の 種類と機能 表 2-2-1-1 表示板の種類と機能（案）」を参考とし、既設機器に関しては、完成図書等を参考に決定する。																																																		
	③ エンジン・ 可搬形 下から2行目	誤 ・情報板の設備容量に関しては、「電気通信施設設計要領（案）・同解説（情報通信システム編）第12章 2-2-1 表示板の機能 表 2-2-1 表示板の種類と機能（案）」を参考とし、既設機器に関しては、完成図書等を参考に決定する。 正 ・情報板の設備容量に関しては、「電気通信施設設計要領（案）・同解説（情報通信システム編）第12章 2-2-1 表示板の 種類と機能 表 2-2-1-1 表示板の種類と機能（案）」を参考とし、既設機器に関しては、完成図書等を参考に決定する。																																																		
2-179	表 2.3.2-3 停電補償時間	誤 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">設 備</th> <th colspan="3">停電補償時間</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一般用（操作・制御）</th> <th rowspan="2">原動機始動用</th> </tr> <tr> <th>発電機有り</th> <th>発電機無し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受 変 電</td> <td>10分</td> <td>30分</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>発 電</td> <td>10分</td> <td>—</td> <td>連続3回以上</td> </tr> <tr> <td>多重無線</td> <td></td> <td>4時間+到達時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各種施設の操作・制御</td> <td>10分</td> <td>30分</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> 正 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">設 備</th> <th colspan="3">停電補償時間</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一般用（操作・制御）</th> <th rowspan="2">原動機始動用</th> </tr> <tr> <th>発電機有り</th> <th>発電機無し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受 変 電</td> <td>10分</td> <td>30分</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>発 電</td> <td>10分</td> <td>—</td> <td>連続3回以上</td> </tr> <tr> <td>多重無線</td> <td></td> <td>4時間+到達時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各種施設の操作・制御</td> <td>10分</td> <td>30分</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設 備	停電補償時間			一般用（操作・制御）		原動機始動用	発電機有り	発電機無し	受 変 電	10分	30分	—	発 電	10分	—	連続3回以上	多重無線		4時間+到達時間		各種施設の操作・制御	10分	30分	—	設 備	停電補償時間			一般用（操作・制御）		原動機始動用	発電機有り	発電機無し	受 変 電	10分	30分	—	発 電	10分	—	連続3回以上	多重無線		4時間+到達時間		各種施設の操作・制御	10分	30分	—
設 備	停電補償時間																																																			
	一般用（操作・制御）			原動機始動用																																																
	発電機有り	発電機無し																																																		
受 変 電	10分	30分	—																																																	
発 電	10分	—	連続3回以上																																																	
多重無線		4時間+到達時間																																																		
各種施設の操作・制御	10分	30分	—																																																	
設 備	停電補償時間																																																			
	一般用（操作・制御）		原動機始動用																																																	
	発電機有り	発電機無し																																																		
受 変 電	10分	30分	—																																																	
発 電	10分	—	連続3回以上																																																	
多重無線		4時間+到達時間																																																		
各種施設の操作・制御	10分	30分	—																																																	
2-204	表 2.5.1-3 保護材の使用 区分	誤 表中の種類別に誤りがある。 正 施工区分「露出」 施工方法「機械的衝撃を受けない場所」「紫外線を受けるおそれのある場所」 電線管種別（例）「 <u>金属ダクト</u> 」削除																																																		
4-40	表 4.2.5-3(a)	誤 表中の数値に誤りがある。 正 <u>別紙1</u> （次ページ）に修正した表 4.2.5-3(a)を示す。 赤字が修正した数値である。																																																		
6-40	5) 光 源 1行目	誤 各洞道内の照明に使用する光源は、原則として蛍光灯 20W 使用する。 正 各洞道内の照明に使用する光源は、原則として 蛍光灯 20W 形 を使用する。																																																		
6-40	6) 蛍光灯安定器 1行目	誤 蛍光灯用安定器は、ラビット・スタート式高力率形とし、下記に示す特性を有するものとする。 正 蛍光灯用安定器は、ラビット・スタート式高力率形 及び高周波点灯専用形 とし、下記に示す特性を有するものとする。																																																		

表4. 2. 5-3(a) 標準ポールの場合の基礎天端への作用力

形状		型式	灯具	水平力 H(N)	曲げモーメント M(N・m)
直線型	基本形 (1灯用)	S8(B)	KSH-2(3)LED 道路灯	1880	8180
		S10(B)	KSH-2(3)LED 道路灯	2260	11700
		S12(B)	KSH-2(3)LED 道路灯	2840	16800
	Y形 (2灯用)	S8Y(B)	KSH-2(3)LED 道路灯	2270	11300
		S10Y(B)	KSH-2(3)LED 道路灯	2660	15600
		S12Y(B)	KSH-2(3)LED 道路灯	3240	21400
曲線型	長円形	8-18(B)	KSC-4	1990	8930
			KSH,LED 道路灯	2060	9480
		10-21(B)	KSC-4	2580	13700
			KSH,LED 道路灯	2650	14400
		10-23(B)	KSC-4	2610	14000
			KSH,LED 道路灯	2680	14700
		12-23(B)	KSC-7	3350	21300
			KSH,LED 道路灯	3290	20600
		12-28(B)	KSC-7	3470	22200
	KSH,LED 道路灯		3410	21600	
	Y形 (2灯用)	8-18Y(B)	KSC-4	2560	13400
			KSH,LED 道路灯	2700	14500
		10-21Y(B)	KSC-4	3190	19700
			KSH,LED 道路灯	3330	21100
		12-23Y(B)	KSC-4	3270	20300
	KSH,LED 道路灯		3410	21700	
	12-28Y(B)	KSC-7	4130	30400	
		KSH,LED 道路灯	4020	29100	
折線形	基本形 (1灯用)	8-8(B)	KSC-4	1860	8160
			KSH,LED 道路灯	1930	8710
		10-8(B)	KSC-4	2390	12400
	KSH,LED 道路灯		2460	13100	
	12-8(B)	KSC-7	3110	19200	
		KSH,LED 道路灯	3060	18600	
	Y形 (2灯用)	8-8Y(B)	KSC-4	2230	11100
			KSH,LED 道路灯	2360	12200
		10-8Y(B)	KSC-4	2760	16100
KSH,LED 道路灯	2890		17500		
12-8Y(B)	KSC-7	3600	25200		
	KSH,LED 道路灯	3490	23800		

注. 表中、赤字部分が修正した数値である。

表 2.1.9-47 誘導電動機 (200V) 1 台あたりのコンデンサ容量 (内線規程)

電動機 定格出力	馬力表示の もの	1/4	1/2	1	2	3	5	7.5	10	15	20	25	30	40	50
	kW表示の もの	0.2	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37
コンデンサ 取付容量 (μ F)	50Hzの場合	15	20	30	40	50	75	100	150	200	250	300	400	500	600
	60Hzの場合	10	15	20	30	40	50	75	100	150	200	250	300	400	500